

CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収への取り組み

事業活動にともなう環境配慮

地球温暖化の防止

地球温暖化防止への取り組み (CO₂ 排出量削減)

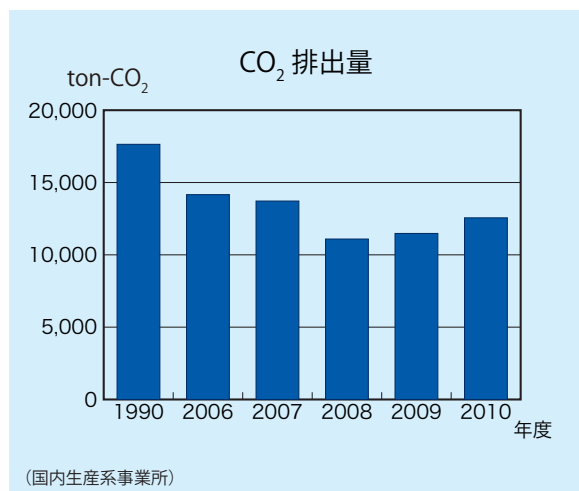
当社グループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用による CO₂ の排出や物流による CO₂ の排出の削減を目的・目標に掲げ活動しています。

工場の統廃合により、生産系事業所の CO₂ 排出量は京都議定書の基準年である 1990 年度に比べて 32%削減されており、京都議定書の日本の目標値 6% 削減に対して当社は大幅な削減を達成しています。

なお、1990 年当時の支社・営業所・音楽教室を含む CO₂ 排出量の推定を行っており、この場合、1990 年比約 29%の削減と推定しております。

また、当社グループの工場では、ピアノ製造の竜洋工場と金属加工のカワイ精密金属(株)松本工場の2工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定され、自主的に CO₂ 削減計画を策定し、CO₂ 削減に取り組んでいます。

オフィスにおいては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノー上着」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を 20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開しています。



CO₂ の吸収活動 (植林活動) の推進

「森の中の緑の工房」 竜洋工場

当社は、1980 年に「森の中の緑の工房」を目指し竜洋工場を建設しました。工場周辺や構内へ当初約 20,000 本の苗木を植え、その後も継続して植林を行い、現在までに約 26,000 本の規模となっています。30 年の歳月を経て工場周辺の木々は、大きな樹木に生長し、「森の中の緑の工房」の名に相応しい工場となりました。この活動が評価され、2005 年緑化優良工場として (財) 日本緑化センター会長奨励賞を受賞致しました。



海外植林活動

2007 年より、海外生産拠点のあるインドネシアにおいて、CO₂ 吸収源の確保、木材が伐採された土地に森林を再生すること、また将来の木材資源の育成を目指してカワイグループ社員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。5 年間 (5 次植林) で 250ha、20 万本を植樹する計画です。

2010 年度はインドネシアでの長雨のため計画していた第 4 次植林を行なうことができませんでしたが、これまでの植林活動により 125ha の土地 (東京ドーム約 27 個分) に 84,000 本の苗木が成長を続けています。

インドネシアの「カワイの森」が完成すると、当社試算では年間 3,667 トンの CO₂ を吸収できると見込んでいます。

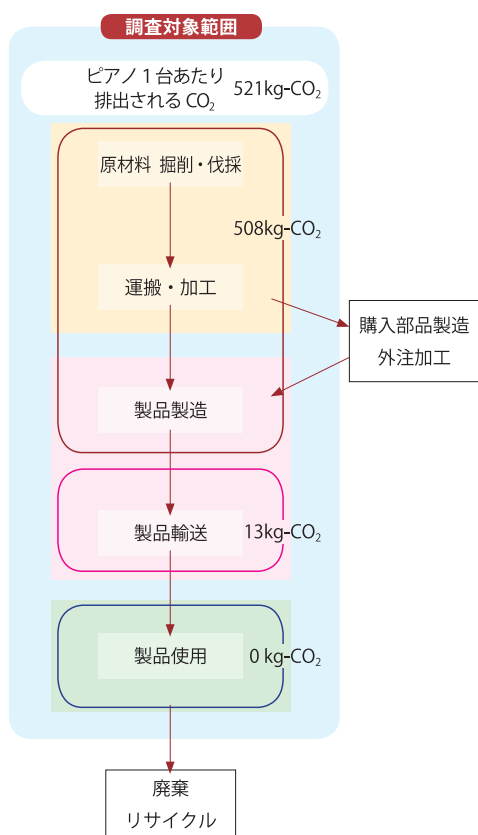


「カワイの森」植林活動

主な製品の環境負荷の評価と環境マネジメントシステムの導入

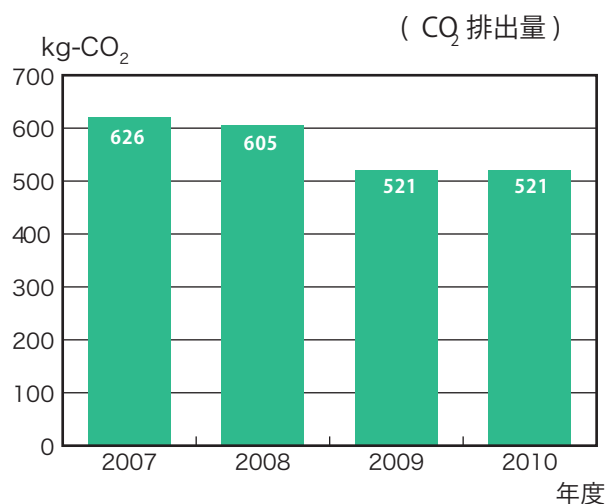
主な製品の LCA(ライフサイクルアセスメント)の調査

製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出される CO₂ 量及び製品を使用し、廃棄されるまでに CO₂ をどのくらい排出するのかの調査を当社の主な製品のグランドピアノ (RX-3) について行なった結果、次のとおりとなりました。



ピアノは、一般の電化製品、自動車と異なり製品の使用時に排出される CO₂ はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までの CO₂ 排出量が製品寿命の総 CO₂ 排出量と考えることができます。

グランドピアノ RX-3 の LCA 結果



エコアクション 21 の取り組み

カワイ精密金属(株)では、環境マネジメントシステムの導入を目指して平成 23 年 1 月 6 日(木)の始業式でエコアクション 21 の取り組みのキックオフを行いました。新しく定めた環境方針・環境目標に沿った活動に取り組み、平成 23 年度中の認証取得を目指しています。



「エコアクション 21」キックオフ (カワイ精密金属株)

LCA : Life Cycle Assessment の略。製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法

LCA 評価方法

* LCA 算定には、社団法人 産業環境管理協会のライフサイクルアセスメント実施ソフト「JEMAI-LCA Pro」を用いました。

*製品の廃棄について

ピアノの寿命は数十年のため算出から除外しました。

*購入部品及び外注先での加工製造・輸送については含まれていません。

*製品輸送は磐田市(竜洋工場)→東京間を用いています。